

STEP2 実力アップ

古代インド・漢代までの中国の文化

私大では、政治・経済・社会に加え、文化に関する出題も少なくない。このため、今回の学習範囲の中から、**古代インド**、および**漢代までの中国の文化**を取り上げ、重要事項を整理していく。各時代の文化の特徴や、代表的な人物名と事績（作品名など）を覚え、さらに、**STEP1－入試のエッセンス**も含めて、時代背景との関連性についても理解を深めたい。

古代インド

■ インダス文明…舗装された街路、煉瓦作りの建物、沐浴場・穀物倉庫などの建物群

遺跡	所在地・発見された年
モエンジョ=ダーロ	シンド地方（インダス川下流域）、1922年に発見
ハラッパー	パンジャーブ地方（インダス川中流域）、1921年に発見

■ インドの諸宗教・思想…バラモン教・ウパニシャッド哲学・仏教・ジャイナ教・ヒンドゥー教

バラモン教	<ul style="list-style-type: none"> ●アーリヤ人によるインド征服の過程で成立 ●ヴェーダを基本聖典とする ●バラモンを最上位とするヴァルナの秩序維持
ウパニシャッド哲学	<ul style="list-style-type: none"> ●バラモン教の祭式至上主義に対する批判から、前7世紀頃に成立 ●内面における思索を重視 ●宇宙の原理であるブラフマン（梵）と個人の本質であるアートマン（我）は究極的に一致する（梵我一如）ことを悟れば、業（カルマ）に決定付けられた輪廻から解脱できると説いた
仏教	<ul style="list-style-type: none"> ●クシャトリヤ・ヴァイシャ層の成長を背景に、前5世紀頃に成立 ●開祖：ガウタマ=シッダールタ（尊称は仏陀・釈迦牟尼） ●ヴァルナを否定 ●徹底した無常観に基づき、八正道を実践し、輪廻からの脱却（解脱）を説く ●紀元前後に大乘仏教が成立、旧来の仏教は上座部仏教（小乗仏教）と呼ばれる
ジャイナ教	<ul style="list-style-type: none"> ●クシャトリヤ・ヴァイシャ層の成長を背景に、前5世紀頃に成立 ●開祖：ヴァルダマナー（尊称はマハーヴィーラ） ●ヴァルナを否定 ●人生を苦とし、徹底的な不殺生主義と禁欲・苦行を説く ●ヴァイシャ層（とくに商人）の支持を集めた
ヒンドゥー教	<ul style="list-style-type: none"> ●紀元前後頃、バラモン教の思想と先住民の民間信仰の要素を取り入れて成立 ●グプタ朝期に普及 ●シヴァ神やヴィシュヌ神、ブラフマー神などを信仰する多神教 ●『マヌ法典』を規範とする ●サンスクリット語の2大叙事詩『マハーバーラタ』『ラーマヤナ』を聖典とする

■ 仏教美術…ガンダーラ美術とグプタ美術の特徴を比較

ガンダーラ美術		グプタ美術
クシャーナ朝 (後1～3世紀)	成立	グプタ朝 (4世紀前半～6世紀中頃)
※ガンダーラは、西北インドのプルシャプラを中心とする地域 ● 仏像の制作が始まる ● ヘレニズム文化の影響 …写実的 ギリシア風の頭髪・顔立ち・衣のひだ	特徴	● インド古典文化の黄金期 ● 純インド的な美術様式 …象徴的 内面的で優美な造形 ● 代表的遺跡 …アジャンター石窟寺院 エローラ石窟寺院
		

漢代までの中国文化

■ 諸子百家…春秋時代末期～戦国時代に現れた思想家・学派

儒家	孔子	儒家の祖 宗法に基づく礼を重んじ、家族道徳の実践によって完成される仁を理想としたその言行は、死後弟子によって編纂された『論語』に記録されている
	孟子	性善説 を唱え、仁と義による王道政治を主張した
	荀子	性悪説 を唱え、礼の重要性を主張して法家に影響を与えた
墨家	墨子	墨家の祖 無差別の愛 (兼愛) と相互扶助 (交利) を説き、戦争を否定 (非攻)
道家	老子 ・ 荘子	儒家や墨家の説を人為的な無用の礼儀を説くものとして否定 無為自然 を説く (老荘思想)
法家	商鞅	秦の孝公に登用されて政治改革を行った
	韓非	荀子の影響を受けて法家思想を大成、『韓非子』を著す
その他	● 兵家 …兵法を講じる、孫子・呉子など ● 陰陽家 …陰陽五行説を説く、鄒衍など ● 名家 …論理学を説く、公孫竜など ● 縦横家 …外交策を講じる、蘇秦・張儀など	

■ 春秋・戦国時代の文化…諸子百家の文献、文学作品

● 『詩経』…華北の詩集、中国最古の詩集
● 『楚辞』…江南の詩集、屈原の作品を含む
● 『戦国策』…戦国時代の縦横家らの策を国別に集録

■ 漢代の文化…政治的統一が中国文化の統合を促す

儒学	儒学の官学化	董仲舒 の建言により、前漢の武帝の時代に官学化
	訓詁学 の発達	経書の字句解釈が中心、後漢の馬融・鄭玄が代表
史学	『史記』	前漢の 司馬遷 の著書、中国最初の 紀伝体 による通史
	『漢書』	後漢の 班固 の著書、前漢一代の歴史を 紀伝体 で記述
宗教	仏教	紀元前後に伝来
	太平道	後漢末に 張角 が組織した宗教団体、 黄巾の乱 の主力
	五斗米道	後漢末に 張陵 が創始した宗教団体
工芸・技術など	● 絹織物、漆器、金属器が周辺諸国に伝播 ● 製紙法 …後漢の 蔡倫 が改良、木簡・竹簡に代わって紙が書写の材料とされる	